

キッズにおすすめ

防災謎解き「災害都市からの大脱出」

9:30~16:30



謎解きを楽しみながら防災の知識を身に付けることができる周遊型の謎解きゲーム。会場内を回って謎を解きながら防災について学ぼう!

※謎解き、スタンプラリーの受付(台紙配布場所)は、P.2会場図でご確認ください。

シヤチハタ

目指そう、備え100%!

みんなで防災・減災スタンプラリー

9:30~16:30

会場内の6ヶ所に防災に関する設問パネルと回答スタンプがあります。専用台紙に回答をおしながら災害時の避難行動を疑似体験するスタンプラリーです。コンプリートした後はアドバイスとプレゼントの進呈があります。



やさしい日本語 防災かるた

簡単な単語や表現で作られるやさしい日本語を使って遊びながら防災用語を学ぼう!



時間/①11:15~11:45 ②13:30~14:00 定員/各回24名程度
実施場所/国際センター展示棟 展示室3-B レストスペース横
●名古屋国際センター

仙台防災未来フォーラム体験周遊ツアー

外国人の方向けに、フォーラムの会場内を英語でご案内します。出展団体の皆さんとの交流を通じて、防災の取り組みやフォーラムの魅力をお伝えします。

※事前申込優先。日本人の方も参加いただけますが、人数に応じてご参加いただけない場合があります。

時間/①11:00~11:30 ②12:45~13:15
集合場所/国際センター展示棟 ホワイエ(展示室3-A近く)

防災備蓄を見直そう! 食べきれない食品はフードドライブへ!



この機会に防災備蓄の賞味期限を見直してみませんか?会場内でフードドライブを実施します。

※回収品目など詳しくはWEBサイトをご確認ください。

実施場所/国際センター展示棟 ホワイエ
●仙台市家庭ごみ減量課

Sendai Framework@10 Exhibition

「仙台防災枠組」採択10周年に寄せるパネル展示

「仙台防災枠組」採択10周年を記念して、防災をテーマとした展示を開催します。

日時:3月7日(金)~18日(火) 各日10:00~17:00
※3月8日(土)のみ9:30~17:00

会場:国際センター駅 青葉の風テラス 1階
●国連防災機関 (UNDRR) 神戸事務所



※展示イメージ

来場者アンケート

今後の取り組みの参考にさせていただくため、アンケートにご協力ください。

会場内で配布しているアンケート用紙に記入をお願いします。
記入いただいたアンケート用紙は、総合インフォメーション付近で回収いたします。

※回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として公表されることはありません。

ご協力いただいた方には、
プレゼントをご用意しております。
(無くなり次第終了)

仙台防災未来フォーラム2025

主催/仙台市 後援/宮城県、東北大学災害科学国際研究所



2025年

3/8 土

9:30~16:30

仙台国際センター展示棟ほか
(地下鉄東西線「国際センター駅」下車)

「仙台防災未来フォーラム2025」は、東日本大震災の経験や教訓を未来につなぐため、発表やブース展示、ワークショップなどを通じて市民のみなさまが防災を学び、日頃の活動を発信できるイベントです。

詳しくは中面をご覧ください>>

フォーラムに関する詳細はホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

仙台防災未来フォーラム2025 運営事務局

TEL:022-217-7851(土日祝日を除く10時~17時) FAX:022-723-3210
E-mail:mirai-forum2025@congre.co.jp

ホームページ <https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2025/>

Facebook <https://www.facebook.com/sendai.bosaimiraiforum>

公式ホームページ

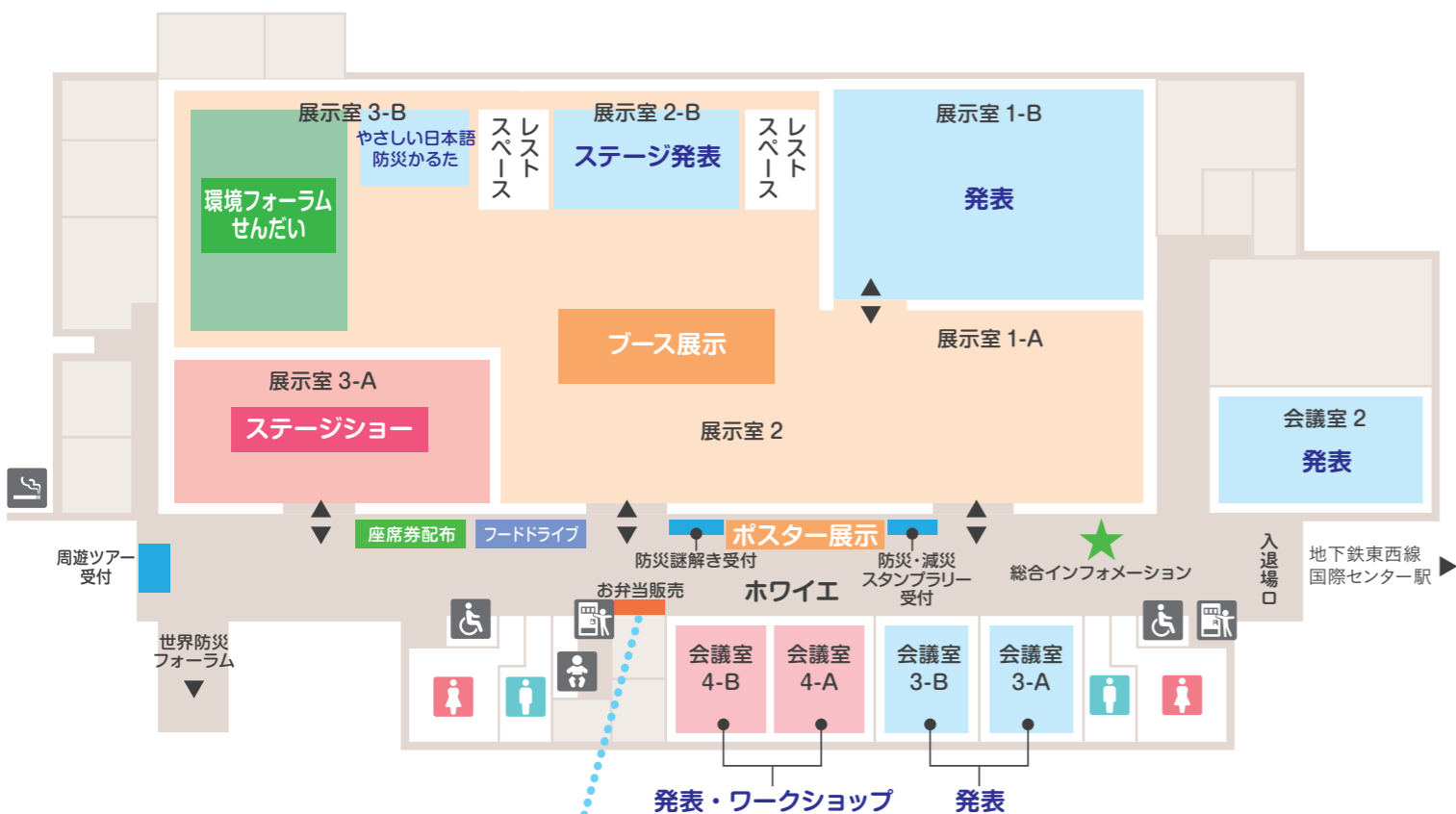
Facebook



展示棟内会場図

仙台国際センター 展示棟

凡例 …トイレ …ひろびろトイレ …自販機 …授乳室



会場でお弁当を販売します!

仙台防災未来フォーラム2025 オリジナル サバ・メシ弁当 100個限定

■販売開始時間 / 10:30 ■お弁当価格 1,080円 (税込)



サバ・メシは、災害を生き延びる(サバイバル)ための「非常食」の略。東日本大震災以降、Date fmが発行している「サバ・メシ防災ハンドブック」は防災にかかわる情報や宮城の学生考案のレシピを紹介しています。今回はそのレシピを「仙台防災未来フォーラム2025」のオリジナル弁当にアレンジしてお届けします。

※イメージ (内容が一部変更になる場合がございます) ※なくなり次第終了となります。 ※展示棟内レストスペースでお召し上がりいただけます。

車両展示 9:30 ~ 15:30

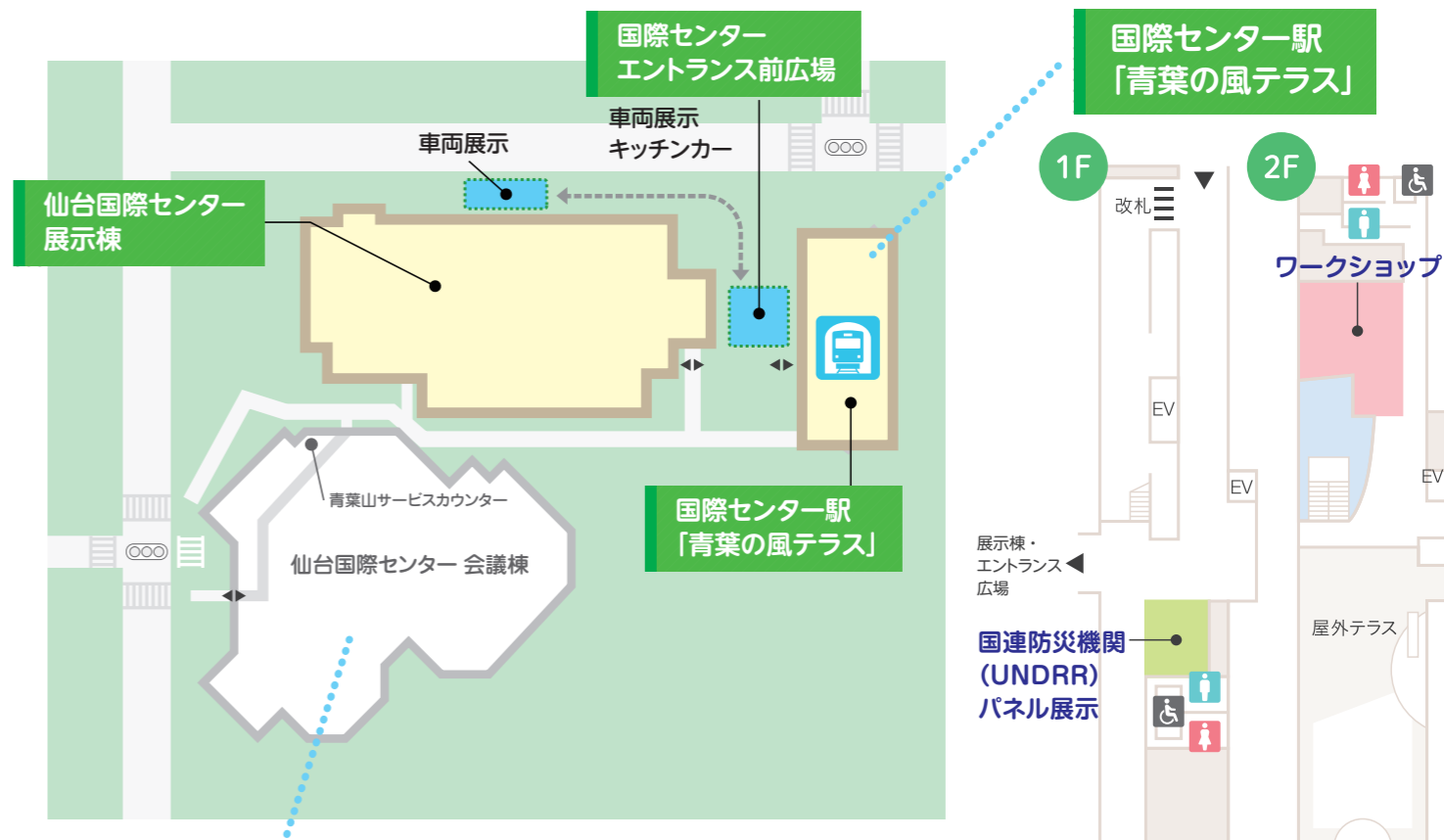
自衛隊野外手術システム車・野外炊事車

自衛隊員の命を守る手術車や炊き出しで大活躍の車両をご覧ください!



出典: 陸上自衛隊春日井駐屯地 公式 X (https://x.com/JGSDF_Kasugai/status/1523501558914490369)

会場全体図



世界防災フォーラム2025



World BOSAI Forum

日付: 3月7日(金)~9日(日)
会場: 仙台国際センター会議棟、仙臺緑彩館
主催: 世界防災フォーラム国内実行委員会 / 国際実行委員会

東北からBOSAIを世界に。
World BOSAI Forumは、東日本大震災を経験した東北の地で、災害で悲しむ人々をこれ以上増やしたくないという願いを込めて始められました。

3/8(土)には、仙台市主催のセッションも開催しますので、ぜひ足をお運びください。

産学官金連携で実現する防災ソリューションの創出から社会実装~仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームの挑戦~
日時: 11:30~12:30
会場: 仙台国際センター会議棟 2F 萩

観光分野における災害リスク削減のあり方とは一気候変動や複合災害リスクなどの不確実性にわれわれはいかに立ち向かうか~
日時: 13:30~14:30
会場: 仙台国際センター会議棟 2F 萩

防災まちづくりと女性のリーダーシップ
日時: 15:00~16:00
会場: 仙台国際センター会議棟 2F 橘

その他のプログラム等についてはホームページをご覧ください。



世界防災フォーラム2025 で検索

キッチンカー 災害時に被災地を食で支援するキッチンカーがやってきます! 9:30~16:30 ※なくなり次第終了となります。



消防車型キッチンカー
元消防士が運営しており、飲食提供を行いながら来場者への防災指導を行うことで、災害時の公助以外に「自助・共助」の意識を構築してもらえるような活動を実施しています。

●一般社団法人日本消防防災UNITE機構



レスキューキッチンカー
災害発生時に対応できるよう様々な装備を備えたキッチンカー。側面が「災害時伝言板」として利用でき、食事や簡易トイレの備蓄、メニュー看板が担架や車いすに転換するなど「災害拠点」になります!

●一般社団法人日本食育HEDカレッジ

※展示棟内レストスペースでお召し上がりいただけます。

会場図……………2-3
タイムスケジュール……………4-5
発表……………6-7
ワークショップ……………7
ブース・ポスター展示……………8-11
環境フォーラムせんだい……………11

仙台国際センター設備について

- 無料Wi-fiがご利用いただけます。
※専用ID・パスワードは、会場でご案内しております。
- 展示棟では、車椅子用トイレ (ひろびろトイレ、おむつ交換台あり)、授乳室がご利用いただけます。
- 館内での喫煙はできません。 展示棟の屋外「喫煙コーナー」をご利用ください。

タイムスケジュール

※プログラム毎の詳細については、次ページ以降をご確認ください。

3/8 土

▶▶発表
 ▶▶ワークショップ
 ▶▶ステージショー
 ▶▶展示(ブース、ポスター)など

▶▶子どもも学べる・楽しめる
 ▶▶手話通訳あり
 ▶▶要約筆記あり

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45
展示室 1-B		9:45~11:15 能登・東日本を踏まえた 未来のまちづくりとは 	11:45~12:45 「人・文化・まちを育む 創造の広場」 音楽ホール・中心部震災 メモリアル拠点複合施設の 整備について 			14:00~16:30 東日本大震災と能登半島地震・豪雨 —何が引き継がれ何が引き継がれなかつ たのか?		
会議室 2		9:45~11:15 [SDGs×防災× 社の都シンポジウム]	11:45~12:30 Back to the People ~共感による市民主導の支え 合いネットワークを 共創しよう~		13:30~15:00 3.11から能登半島 そして全国へ —防災減災のための 女性リーダー育成の 成果と今後の課題—		15:30~16:30 被災者の権利とニーズを踏まえた 支援に向けて 「原子力災害下における人道支援開始 ガイド(仮称)」の紹介	
会議室 3-A		9:45~11:15 次世代の防災意識を高める —多様な視点で避難所 の設計図をつくる—	11:45~12:30 東日本大震災体験文集朗読会 —あの日、あの時、私の記憶—		13:30~15:00 聴いてみたい!企業にとっての SDGsと防災・減災の関係。		15:30~16:30 日本ジオパークネットワーク における防災活動	
会議室 3-B		9:45~11:15 地域に根ざしたFBO (信仰基盤団体)の視点から 考える、人に寄り添う 「より良い復興」推進 のための提案 	11:45~12:30 学生と地域が広げる 防災の輪 —防災ワークショップ 「防災アドベンチャー」の 開催から見てきたヒント—		13:30~15:00 外国人と多文化防災 ~インバウンド・留学生、 外国人労働者を巡って		15:30~16:15 指定避難所等に設置した 太陽光発電システムの 有効活用について —ピークカット制御高度化—	
会議室 4-A		9:45~11:15 仙台防災枠組・SDGs目標年まで あと5年 —市民の実践例に学ぶ—	11:45~12:30 建築の災害支援について —活動と課題—		13:30~15:00 仙台市の脱炭素先行地域の 取り組みについて		15:30~16:30 【防災と自治】 転入者が必要な繋がりを考える —アンケート分析結果から探る、 必要な共助の輪とは— 	
会議室 4-B		9:45~11:15 東日本大震災後、 仙台市民協働提案制度 から誕生した 「仙台発そなえゲーム」を 体験しよう!! 	11:45~12:45 地球外ハザード: 宇宙からの危機襲来? 		13:30~15:00 人の口から人の心に伝える —みんなの災害体験を 100年後の人たちへ—		15:30~16:30 未来の避難所を体験しよう! —デジタルツールで学ぶ 避難所開設—	
青葉の風 テラス 2階		9:45~11:15 「聞く」を「聴く」に 変えてみよう! —対話のワークショップ—	11:45~12:45 災害アーカイブ ワークショップ —東日本大震災から 学ぶこと— 		13:15~14:15 震災遺産を考える —資料と問いによる 学校でのワークショップ— 		14:45~15:30 災害時の ボランティア活動	16:00~16:30 「ポリ袋でポンチョづくり」 および「紙食器づくり」

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45	15 30 45
ホワイエ				9:30~16:30 ポスター展示、フードドライブなど				
展示室 3-A (ステージショー)		10:30~11:00 阿部清人先生の 防災エンショー	11:30~12:15 スポーツ界から見る 復興の道	12:45~13:15 小島よしおと一緒に 防災を学ぼう!		14:00~15:00 自衛隊トークショー & 炊き出しカレーのお振舞		16:00~16:30 クロージング
展示室 1-A 展示室 2 展示室 3-B			11:15~11:45 防災かるた①			13:30~14:00 防災かるた②		9:30~16:30 ブース展示
展示室 2-B (ステージ発表)	9:45~10:15 せんだいの海辺の自然と復興 —蒲生・長浜の海辺から—		11:45~12:15 日本と同じ自然災害が多い インドネシアでの自主防災		14:15~14:45 環境×防災×森林 CLTを活用したDIY防災 シェルターキット開発		15:45~16:15 名取市海岸防災林 100haの再生に関わる人に聞く —海岸林再生プロジェクト 第2次10ヵ年計画—	
		10:30~11:00 「こんな仙台に住みたいな」 環境絵画・ポスターコンクール表彰式 			13:00~14:00 防災・減災と応急救護の ワンポイントレクチャー 		15:00~15:30 防災マツ(MATOMAT)を通じた SDGs教育と防災意識向上への取組	
		11:15~11:30 災害時もバッテリー不足を解決! —ChargeSPOTの活用— 						

ステージショー

会場：展示室 3-A 定員：180名



小島よしおと一緒に 防災を学ぼう!

12:45~13:15 座席券 9:30配布開始
子どもに大人気の小島よしおと一緒に防災
を楽しく学びましょう!「防災」も「サイエンス」
も学べる防災エンショーとのコラボステ
ージもお楽しみに。



対談 銀次(元楽天イーグルス選手)×佐藤あり紗(オリンピックバレーボール日本代表)×田村直也(元ベガルタ仙台・サッカー解説者)

スポーツ界から見る復興の道

11:30~12:15

震災時には心の支えとなることもあり、かつ防災活動においても
役立つ体力や精神力を培えるスポーツ。仙台で活躍されたアス
リート3名を迎え、震災時の経験や各スポーツの視点で考える防
災意識を高めるためのアプローチについてお話を伺います。

阿部清人先生の 防災エンショー

10:30~11:00

誰でもわかりやす
いトークと防災実
験で、子どもから
大人まで防災と科
学を楽しく学べる
阿部清人先生のス
テージショー!



自衛隊 トークショー& 炊き出しカレーのお振舞

14:00~15:00

災害発生時に迅速な救援活動を行い住民の安全を守る
自衛隊。災害時の体験談や活動内容、防災について話を
伺います。今回は救援活動の一つ「炊き出し支援活動」に
て人気メニューの「陸上自衛隊炊き出しカレー(180食限
定)」を実際にお振舞をしお召し上がりいただけます!

※プログラムや出演者は変更になる場合がございます。また、一部プログラムは座席券を配布します。



発表

[会場] 展示室・会議室

詳細はこちらをチェック



展示室 1-B 定員：150名	能登・東日本を踏まえた未来のまちづくりとは 9:45~11:15 ■有限責任監査法人トーマツ地域未来創造室/大阪公立大学/一般社団法人フェーズフリー協会	能登半島地震からの復旧・復興の現在地を共有し、東日本大震災からの復興も踏まえ、来るべき自然災害を踏まえた未来のためのまちづくりについて皆さんと対話いたします。
	「人・文化・まちを育む創造の広場」音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の整備について 11:45~12:45 ■仙台市 防災環境都市推進室/青葉山エリア複合施設整備室	仙台市は、文化芸術の総合拠点となる「音楽ホール」と災害文化の創造拠点となる「中心部震災メモリアル拠点」の複合整備を進めています。2031年度中の開館に向けて「施設の目指す姿」を会場の皆様と共有します。
	東日本大震災と能登半島地震・豪雨 何が引き継がれ何が引き継がれなかったのか？ 14:00~16:30 ■東北大学災害科学国際研究所	東日本大震災と能登半島地震・豪雨における災害対応・復旧を比べて、何が引き継がれて、何が引き継がれなかったのかを明らかにすることを通じて、災害間の技術的継承のあり方について分野横断的に考えます。
会議室 2 定員：102名	[SDGs×防災×杜の都シンポジウム] 9:45~11:15 ■仙台市政策調整課	仙台市は「世界に誇る防災環境都市」をテーマに、SDGs未来都市に選定されています。防災に関する取り組み等について、地域企業の方に講演いただき、一緒に災害に備える意義を考えます。
	Back to the People ~共感による市民主導の支え合いネットワークを共創しよう~ 11:45~12:30 ■東京海上日動火災保険株式会社/アビームコンサルティング株式会社/一般社団法人Smart Supply Vision	「私たち市民一人ひとりが主役になる“助け合い”本来の姿を仕組みにする」「未来は白紙であり、自分達でつづっていくもの」をコンセプトに、市民主導型の被災者支援プラットフォームの共創についてご紹介いたします。
	3.11から能登半島そして全国へー防災減災のための女性リーダー育成の成果と今後の課題ー 13:30~15:00 ■公益財団法人地域創造基金さなぶり	2年半にわたり休眠預金制度を活用し全国各地域で女性防災リーダー育成事業を実施してきました。活発な女性防災リーダーの育成、新たなネットワークの事例とともに、プログラムの全体の成果について発信します。
	被災者の権利とニーズを踏まえた支援に向けてー「原子力災害下における人道支援開始ガイド(仮称)」の紹介 15:30~16:30 ■ジャパン・プラットフォーム 原子力災害下における人道支援開始ガイド(仮称)策定プロジェクト実行委員会	2011年以降のNGO/NPO等民間の福島支援経験を元に、原子力災害発生時に支援者が自らのリスクを回避しながら被災者の尊厳と権利の保護に配慮した支援を行うために作成した支援者向けガイドの紹介をします。
会議室 3-A 定員：48名	次世代の防災意識を高める 一多様な視点で避難所の設計図をつくるー 9:45~11:15 ■特定非営利活動法人イコールネット仙台	災害時、小中学生も地域の一員として地域に暮らす様々な人々を支える役割を担うことができるように、仙台市内の小中学校4校で実施した「多様な視点で避難所の設計図をつくるワークショップ」の成果を紹介いたします。
	東日本大震災体験文集朗読会 ーあの日、あの時、私の記憶ー 11:45~12:30 ■仙台市女性防火クラブみやぎの朗読会	まだ深い悲しみの中にいた方々へお願いし、書いていただいた体験文集です。被災者の声を一冊にまとめ、朗読というカタチで活動を続けて参りました。記憶の風化に抗って…次の世代に悲しみと教訓を繋いで参ります。
	聴いてみたい!企業にとってのSDGsと防災・減災の関係。 13:30~15:00 ■SDGsとうほく	SDGsと仙台防災枠組とのつながりについて、企業活動にとってのSDGsの取組みとあわせて災害時の防災・減災の取組みの関連性を具体例を交えて紹介いたします。後半は参加者を交えてのパネルディスカッションです。
会議室 3-B 定員：48名	日本ジオパークネットワークにおける防災活動 15:30~16:30 ■特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク	日本には47のジオパークがあり、それぞれのジオパークで独自の防災活動をしています。今回は東北地方の4地域(三陸・栗駒・蔵王・磐梯)から発表をします。
	地域に根ざしたFBO(信仰基盤団体)の視点から考える、人に寄り添う「より良い復興」推進のための提案 9:45~11:15 ■東北創価学会	「仙台防災枠組」採択より10年、創価学会はFBOとして「心の復興」を目指し、災害支援活動を継続しています。本フォーラムでは「より良い復興」推進の提案を行い、識者を招いてシンポジウム形式で発表します。
	学生と地域が広げる防災の輪 ー防災ワークショップ「防災アドベンチャー」の開催から見えてきたヒントー 11:45~12:30 ■災強のすけっと	我々「災強のすけっと」は医学生による防災団体です。発表では、今年度実施した小学生向け体験型防災ワークショップ「防災アドベンチャー」を通じて構築した、地域を巻き込む防災教育スキームをご紹介します。
	外国人と多文化防災ーインバウンド、留学生、外国人労働者を巡って 13:30~15:00 ■宮城県国際化協会(MIA)/仙台観光国際協会(SenTIA)	①在留外国人の現状と災害時の外国人及びその支援の課題 ②企業、自治体等による事例紹介 ③宮城県、仙台市における多文化防災の取組紹介など 以上を通じて、在留外国人の防災の現在をお伝えします。
会議室 4-A 定員：48名	指定避難所等に設置した太陽光発電システムの有効活用についてーピークカット制御高度化ー 15:30~16:15 ■仙台市環境局×NTTドコモ	仙台市内の全小中学校を含む指定避難所等199箇所に設置した防災対応型太陽光発電システムについて、仙台市とNTTドコモの共同研究において実施している電力のピークカット制御の取組みについて紹介いたします。
	仙台防災枠組・SDGs目標年まであと5年ー市民の実践例に学ぶー 9:45~11:15 ■防災・減災日本CSOネットワーク	仙台防災枠組の達成年まであと5年。市民社会として取り組んできた、女性のリーダーシップや早期減災アクションなどの国内外の実践例を通して、2030年、そしてその先の未来に向けた挑戦と可能性を考えます。
	建築の災害支援についてー活動と課題ー 11:45~12:30 ■建築防災・災害復興支援団体 一般社団法人ヒトレン	「より良い復興」を基本テーマに東日本大震災から継続している建築支援についてこれまでの活動事例のほか、現在進めているチリや、能登半島の支援状況のご報告、そして建築支援の課題を発表いたします。
会議室 4-B 定員：48名	仙台市の脱炭素先行地域の取り組みについて 13:30~15:00 ■仙台市先行地域推進室	仙台市は、令和5年11月に全国に先駆けて脱炭素化に取り組む地域を国が選定する「脱炭素先行地域」に選定されました。全国に展開できる脱炭素化モデルの創出に向けた住宅・ビルの脱炭素化の取組について紹介いたします。
	地球外ハザード:宇宙からの危機襲来? 11:45~12:45 ■国立研究開発法人情報通信研究機構	皆さん、宇宙から襲来する危機があることをご存じですか? 1つは、2025年に11年周期の活動期を迎える太陽活動。もう1つは、天体衝突です。その可能性のある2つを専門家が解説し、質問に答えます。

各出展団体の分類は、右記の色分けでご確認ください。

- …復興・次世代への継承
- …防災・減災
- …地域防災
- …環境

- 😊 >> 子どもも学べる・楽しめる
- 👉 >> 手話通訳あり
- 🖋️ >> 要約筆記あり

展示室 2-B 定員：36名	せんだいの海辺の自然と復興ー蒲生・長浜の海辺からー 9:45~10:15 ■仙台市立鶴巻小学校・仙台市立岡田小学校	東日本大震災により大きな被害を受けた蒲生干潟・長浜において、自然環境の再生や、生息する生物・植物の学習に取り組んできた、鶴巻小学校・岡田小学校の児童の皆さんによる発表です。
	「こんな仙台に住みたいな」環境絵画・ポスターコンクール表彰式 10:30~11:00 ■FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議)	FEEL Sendai(杜の都の市民環境教育・学習推進会議)事業の「「こんな仙台に住みたいな」環境絵画・ポスターコンクール」受賞作品の表彰式を行います。
	災害時もバッテリー不足を解決!ー ChargeSPOT の活用ー 11:15~11:30 ■株式会社 INFORICH	モバイルバッテリーシェアリングサービス「ChargeSPOT」。平時の充電ニーズ解消の他、地震や台風などの自然災害発生時バッテリー供給などの様々な取り組みをご紹介します。
	日本と同じ自然災害が多いインドネシアでの自主防災 11:45~12:15 ■公益社団法人青年海外協力協会	インドネシア国バリス市を中心とした震災からの復興で、集団移転先での住民主体による災害に強いコミュニティづくりをJICA草の根技術協力事業として取り組んでいます。その現状を現地行政官や住民が発表します。
	防災・減災と応急救護のワンポイントレクチャー 13:00~14:00 ■仙台市減災推進課	防災・減災のお話と、応急救護技術レクチャーにより、防災・減災を分かりやすくお伝えします。
	環境×防災×森林 CLTを活用したDIY防災シェルターキット開発 14:15~14:45 ■特定非営利活動法人水守の郷セツケ	激甚化する傾向にある豪雨による土砂災害を防ぐためには健全な森を育てていく必要があります。木材特有の断熱性と壁式構造のCLTを活用し、安価かつ短期間に設置できる防災シェルターを開発しました。

ワークショップ

[会場] 展示室・会議室・国際センター駅「青葉の風テラス」2階

詳細はこちらをチェック

会議室 4-A 定員：48名	「防災と自治」転入者が必要な繋がり考えるーアンケート分析結果から探る、必要な共助の輪とはー 15:30~16:30 ■せんだいみやぎソーシャルハブ	仙台市では転入者が多い一方で、現状把握のためのアンケートでは、町内会への参加率は約15%と低く地域との関わりが限定的なことがわかります。分析結果を元に、転入者に必要な繋がりや取り組みについて考えます。
会議室 4-B 定員：48名	東日本大震災後、仙台市民協働提案制度から誕生した「仙台発そなえゲーム」を体験しよう!! 9:45~11:15 ■NPO法人FORYOUにこここの家	プレーヤーが架空の住民になって、「災害に備えるために、自分や地域に何が必要か・何ができるか」について考えながら実践的に学べる参加型のボードゲームです。小中学校などで実施しています。誰でも参加できます。
	人の口から人の心に伝えるーみんなの災害体験を100年後の人たちへー 13:30~15:00 ■あれからスペシャル実行委員会	仙台市職員等の震災体験を基に制作した「朗読」や「動画」、震災体験者ご本人の話を聴き合う「本人語り」、参加者同士の「フリートーク」など、災害を自分ごととして考え、未来に備えるためのプログラムです。
	未来の避難所を体験しよう!ーデジタルツールで学ぶ避難所開設ー 15:30~16:30 ■能美防災株式会社	NHOPSアプリで避難所開設を学ぶ体験型ワークショップです。避難所ではどのような行動をするべきなのか、何をすればよいのか、最新の避難所開設アプリを使って学びを深めましょう!
青葉の風テラス 2F 定員：25名	「聞く」を「聴く」に変えてみよう!ー対話のワークショップー 9:45~11:15 ■仙石PACE	わたしたちは、東日本大震災に直面し、人と人が対話をする事の大切さをあらためて学びました。このワークショップでは、さまざまな体験を通して、対話について一緒に考える場を参加者の皆様とつくっていきます。
	災害アーカイブワークショップー東日本大震災から学ぶことー 11:45~12:45 ■一般社団法人三陸&東海防災フォーラム伝	デジタル地図上に置いた被災状況の写真をクリックし、地形と被災状況の関連を学び、それをもとに今後の災害にどのように備えるか、どのように避難行動に結び付けたいか等について共に考える体験ができます。
	震災遺産を考えるー資料と問いによる学校でのワークショップー 13:15~14:15 ■福島県立博物館	博物館の普及活動として中学校~大学生を対象に行っている震災資料と問いによる模擬授業を行います。災害伝承の持続可能性の獲得に向けた取り組みです。
	災害時のボランティア活動 14:45~15:30 ■社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	災害時に立ち上がる「災害ボランティアセンター」を知っていますか? 災害時自宅にいたら役立つもの、自分ができる活動は何かを一緒に考えてみましょう。
「ポリ袋でポンチョづくり」および「紙食器づくり」 16:00~16:30 ■損害保険ジャパン株式会社	水害や地震で避難する際にポンチョが果たす役割を理解し、身近な材料で代替できることを学びます。また、災害時に食器が割れ、水道が止まり食器が洗えなくなった場合に備え新聞紙を利用した食器を作る方法を学びます。	



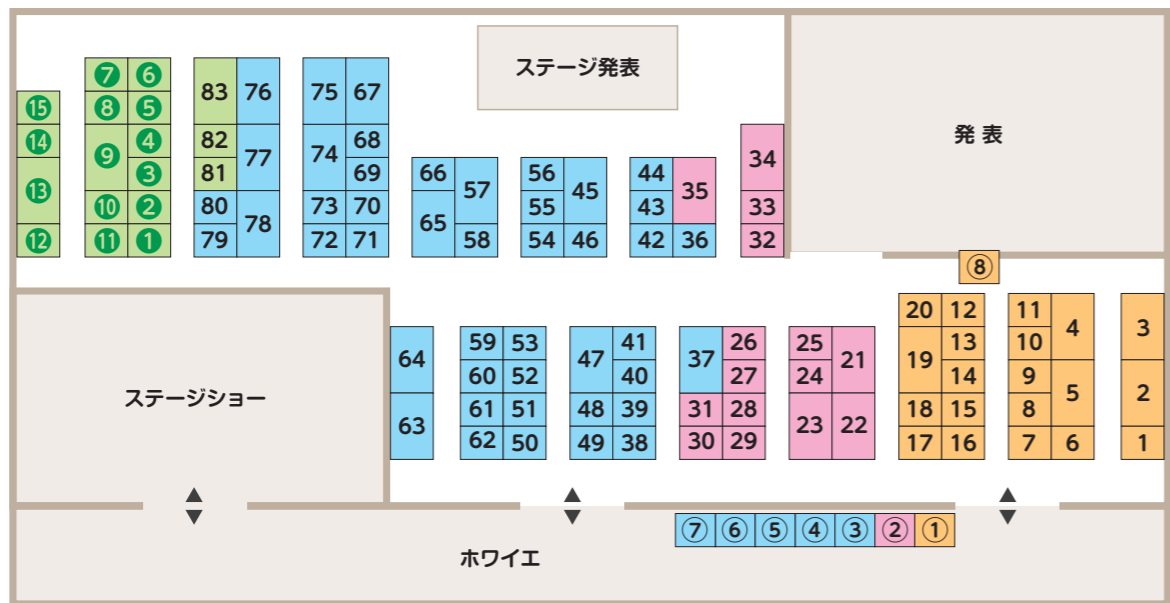
ブース・ポスター展示

[会場] 展示室・ホワイエ

詳細はこちらをチェック



展示室 会場図



ブース展示 団体一覧

1	「3がつ11にちをわすれないためにセンター」と川俣正 / 仙台インプログレス (art node) ■ せんだいメディアテーク	せんだいメディアテークが、市民、専門家、アーティストと取り組む「3がつ11にちをわすれないためにセンター」と「川俣正 / 仙台インプログレス (art node)」東日本大震災にまつわる活動を紹介いたします。
2	FBO(信仰基盤団体)による「心の復興」と「より良い復興」推進の提案 ■ 東北創価学会	創価学会は「3・11」以降、熊本地震や能登半島地震などの災害に対し、FBOとして「心の復興」を掲げ、心理ケアや復興祈念コンサート等を実施。仙台防災枠組に基づくこれらの取り組みをパネル展示で紹介いたします。
3	仙台ふるさとの杜再生プロジェクト - 仙台東部地域のみどりの再生、市民協働による植樹・育樹を通して - ■ 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト	海岸防災林等での植樹会や苗木の手入れを行う育樹会等を開催し、仙台東部地域のみどりを再生しています。パネル展示を通じて皆様にご紹介します。また、ミニワークショップ「松ぼっくりの人形工作」を行います。
4	津波による絶滅を奇跡的に免れた「井土メダカ」の里帰りまでの物語 ■ 仙台市若林区まちづくり推進課・仙台市建設局八木山動物公園	展示と子供向け体験ブースにより、東日本大震災を経て地域固有の「井土メダカ」が、ふるさとである仙台市若林区六郷東部地区に里帰りを果たすまでの保護活動とまちづくりについて紹介します。
5	東日本大震災後発足した「東六郷・東部かあちゃん'ず」の12年の歩みと被災者健康支援の現在 ■ 若林区家庭健康課、東六郷・東部かあちゃん'ず	①「東六郷・東部かあちゃん'ず」が震災後のふるさとを盛り上げるために行っている活動、地元食材を使った六郷レシピの紹介 ②復興を支える地域コミュニティ支援についてミニワークショップを含めブース展示します。
6	わたしのふるさとプロジェクト - 六郷東部地域の「にぎわい再生」に向けて - ■ わたしのふるさとプロジェクト - 六郷東部地域の「にぎわい再生」に向けて -	震災により大きな被害を受けた六郷東部地域に線のある方々が、市民センターを拠点に地域の「にぎわい再生」等を目指し活動しています。今回は活動の紹介、活動資金となる「仙台・絆サイダー」の販売を行います。
7	のとのこと - 能登の夏、キリコ祭り - ■ せんだい3.11メモリアル交流館	2024年1月1日に発生した地震等で大きな被害を受けた能登半島について、古くから受け継がれてきた祭りのひとつ「キリコ祭り」を通じて、生活の中で受け継がれてきた文化や風光明媚な土地をご紹介します。
8	3.11伝承ロード - 一教訓が、いのちを救う。 - ■ 一般財団法人 3.11伝承ロード推進機構	東日本大震災の実情と教訓を伝える「震災伝承施設」をマップでご紹介します。また、3.11伝承ロード推進機構で取り組む震災伝承活動についてもご紹介します。
9	「命をつなぐ未来を拓く」東日本大震災を伝える地域主体のネットワーク ■ 「命をつなぐ未来を拓く」東日本大震災を伝える地域主体のネットワーク	東日本大震災を伝えるネットワークを通じた連携・企画・人材育成の取り組みを展示します。当時の子どもたちの体験談をマンガで紹介する他、若手・宮城・福島の語り部を繋ぐツアーやプログラム等もご紹介します。
10	南三陸311メモリアルでの震災伝承・防災・減災への取り組み ■ 南三陸311メモリアル	2022年10月にオープンした南三陸311メモリアルの施設概要やラーニングプログラムをはじめ、南三陸町での震災伝承活動を中心とした防災・減災への取り組み、来館者の実態などをご紹介します。
11	復興ツーリズム(仙台市東北連携推進室) ■ 復興ツーリズム(仙台市東北連携推進室)	震災復興をテーマとした仙台発着のドライブルートをご紹介します。伝承施設や復興のシンポルのみにとどまらず、ご当地グルメやエリアならではの人気スポットなど、見どころ満載なコースをご提案いたします。
12	被災地の新聞社として、今できることを - 一学び直しと伝承 - ■ 河北新報社 今できることプロジェクト	東日本大震災からの復興を果たすため「今、私たちにできることはなんだろうか?」という問いかけとともに2012年秋に始動。一般市民、賛同企業・団体の皆さまと手を携え、記憶と教訓を継承する活動を続けています。
13	「311ゼミナール」教師を志す学生たちの震災学習記録 ■ 宮城教育大学 311ゼミナール	宮城教育大学が2019年開設の「311いのちを守る防災教育研修機構」で始めた震災に向き合う自主ゼミ活動について、最新の成果をご紹介します。
14	福祉と防災 - これから未来と社会を創造する - ■ 東北福祉大学 社会福祉 × 防災プロジェクト	社会福祉を学ぶ学生が「防災」をキーワードに、いのちや暮らしの豊かさ、人と社会とのつながりを問う研究に取り組んできました。「伝えるから「伝わる」への進化をめざして、これからの防災学習を皆さんと考えます。
15	尚絅学院大学ボランティアチームTASKIの2024年度活動紹介 ■ 尚絅学院大学 ボランティアチームTASKI	尚絅学院大学ボランティアチームTASKIは、名取市関上を主な拠点とし地域や人に寄り添いながら防災減災・コミュニティ再生に関する活動を行う有志団体です。2024年度の活動を紹介するポスターを展示します。
16	わたしたちの記憶を紡ぐ 未来のいのちへつなぐ - 石巻市震災遺構の展示と震災伝承・防災学習プログラム ■ 石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校	石巻市の二つの震災遺構である門脇小学校および大川小学校の施設紹介と、解説ガイド、語り部、避難所運営研修、疑似体験型防災学習プログラム「ツナミリアル」等の震災伝承・防災学習の取組をご紹介します。
17	震災遺産を考える - 教育普及 / レプリカ / メタパース ■ 福島県立博物館	福島県内の震災遺産の活用について、博物館の事例や、大熊町の実践事例などを紹介します。
18	宮城県図書館の震災伝承活動について ■ 宮城県図書館	東日本大震災の発生から復旧・復興に関する宮城県内の記録をデジタル化した「東日本大震災アーカイブ宮城」と、東日本大震災の関係資料を収集している「東日本大震災文庫」についてご紹介します。
19	宮城県震災復興パネル展 ■ 宮城県	宮城県の東日本大震災からの復興状況をまとめたパネルを展示し、震災復興・伝承に関する広報冊子、パンフレットの無料机上配布を行います。また、震災遺構などの震災伝承施設を紹介する動画を放映します。
20	国際復興支援プラットフォーム (IRP) ■ 国際復興支援プラットフォーム (IRP)	災害からの「Build Back Better (よりよい復興)」の促進のため、国内外の教訓・知見を共有する場である「国際復興フォーラム」や、復興事例を分野別に掲載した「ガイダンスノート」をご紹介します。

各出展団体の分類は、右記の色分けでご確認ください。

- ...復興・次世代への継承
- ...防災・減災
- ...地域防災
- ...環境

子どもも学べる・楽しめる

21	女性と防災パネル展示・女性たちの「手仕事」 ■ 仙台市男女共同参画課、(公財)せんだい男女共同参画財団	地域版女性リーダー育成プログラムや、女性たちの防災の取り組みを紹介します。あわせて、東日本大震災からの復興の過程で生まれた女性たちの手仕事品の展示や販売を通じて、作り手の思いなどをお伝えします。
22	仙台市博物館の資料レスキュー活動 ■ 仙台市博物館	東日本大震災後に仙台市博物館が行った歴史資料の保全活動である資料レスキュー活動についてや青葉区の歴史災害についてのパネルを掲示します。歴史資料の防災等について考えるきっかけになればと思います。
23	防災士みやぎ・日本防災士会東北支部活動報告について - 防災・減災啓蒙活動から災害支援活動 - ■ 特定非営利活動法人防災士みやぎ / 日本防災士会東北支部連絡協議会	防災士みやぎと日本防災士会東北支部の平時及び災害時の活動の報告をパネル展示で紹介させていただきます。また、「防災士とは」と本会及び本会発行の減災絵本「リオン」の展示と紹介をさせていただきます。
24	災害時の地域連携 ~ 自助とその先の安心を ~ ■ 協和運輸倉庫株式会社 / 株式会社イーコース	物流倉庫会社である弊社は、地域貢献の一つとして「電源ドナー」の給電拠点となり、災害時でも電源を必要とする難病患者さん等に電気を届けることができます。自助の頑張りを共助で支えます。
25	普段も、非常時も いつでも使える防災マット「MATOMAT」 ■ 太平洋工業株式会社	一つで二役! MATOMATは単体ではクッションや座布団として、学校の椅子、公民館、自家用車の車中で使用できます。一方、複数集めて繋げると避難所や車中でマットとして使用できるフェーズフリー製品です。
26	防災ネットワークソリューション ■ エイチ・シー・ネットワークス株式会社 北日本支店	従来の防災無線では対応できないデータの送受信環境を自営の無線LANで実現し、災害発生によるキャリア輻輳時にも安定した連絡網を提供します。平時時は、地域連絡網や住民サービスの向上への活用も可能です。
27	地域を知って自然災害に備える! ■ 認定NPO法人 防災・減災サポートセンター	地域の地形や地盤の情報をすることで、大雨や地震などに対して効果的な事前対策ができます。どのように地域の情報を得ればよいでしょうか?ノウハウと一緒に学びましょう。私たちの活動をご紹介します。
28	地域防災シンポジウムの紹介 ■ 仙台八木山防災連絡会	当地域で毎年開催している「地域防災シンポジウムin八木山」など、地域のあらゆる機関・団体がイベントごとに自由に連携体制を構築して行う防災への取り組みについて紹介します。
29	インドネシア国パル市での、より災害に強いコミュニティづくり ■ 公益社団法人青年海外協力協会	JICA華の根技術協力事業で取り組んできた現地コミュニティ活動について、現地自主防災組織のメンバーが説明します。
30	難病患者と災害時の備え ■ NPO法人 宮城県患者・家族団体連絡協議会	難病患者は災害時に大きなリスクを負い、症状が悪化する恐れもあります。災害時に命や安全を守るための災害への備えや医療情報の確保について、患者目線で発信します。
31	災害時における盲導犬ユーザーの避難について ■ 公益財団法人 日本盲導犬協会	災害時における盲導犬ユーザーの避難についてや避難所での必要なサポートなどについてのパネル展示、盲導犬についての資料配布を行います。また、見えにくい状態を体験できるグッズを展示します。
32	地域と大学が取り組む災害時避難の課題解決の取組 ■ 岩手県立大学防災復興支援センター	岩手県立大学教員による「夜間寒冷地津波等を想定した避難訓練の運営支援」、「自治体・自治会等を対象とした地区防災計画策定支援」、「災害時避難行動要支援者の個別避難計画策定支援」等の取組をご紹介します。
33	BOSAIラボの挑戦 - 横浜の学生が創る防災・減災の未来 - ■ 横浜国立大学 地域課題実習 BOSAIラボ	BOSAIラボでは実践・研究の計4チームが日々様々な観点から防災に関する活動を行っています。今回の仙台防災未来フォーラムでは、研究チームの成果や、それを地域で実践したことや得られた成果などを発表します。
34	学生仙台市地域防災リーダー(学生SBL) - 活動紹介・せんだい災害VR体験 - ■ 学生SBL(学生仙台市地域防災リーダー)	学生仙台市地域防災リーダーとしてこれまでに行ってきた活動について紹介します。そしてせんだい災害VR体験を行います。
35	新しい地域防災へのアプローチ - 「地形」を知って命を守る - ■ 東北福祉大学 水本ゼミ	赤青メガネを使って、防災に役立つ身近な地形を3D画像でわかりやすく紹介します。さらに仙台市内の各地区で行った「今までにない、防災講演や防災まち歩きの新しい方法」を提示します。
36	LANの活動と被災地支援 - 能登半島ボランティアを通じて - ■ 兵庫県立大学学生災害復興支援団体LAN	LANの活動内容と被災地から数回にわたって行ってきた能登半島ボランティアの様子について紹介します。
37	一緒に考えよう。災害時のこころのケア ■ 仙台市精神保健福祉総合センター / はあとケアサークルYELL	様々な災害への備えとして、普段から必要なメンタルヘルスケアに関する情報をお伝えします。日頃からできるストレスケアについて一緒に考えてみませんか。
38	ペット同行避難について ■ 仙台市動物管理センター / NPO法人エーキューブ	災害時に備えて、日頃から飼い主が行うべき準備の紹介やペットの同行避難について、動物用避難用品、各種「パネル」や写真の展示、チラシ等の配布を行います。
39	医療的ケア児者の災害時の備えについて - 災害体験から知る・考える 日々の備えと必要な支援 - ■ 仙台市発達相談支援センター / 仙台市障害者総合支援センター	災害時の備えは誰しも必要ですが、医療的ケアが必要な方は、より個性の高い備えが必要になります。実際に被災した当事者等の体験談と必要な情報をまとめたツールや、災害時個別計画についてご紹介します。
40	防災×健康づくり・地域と取り組む防災訓練と子育て防災ハンドブックの活用 - ■ 仙台市宮城野区保健福祉センター 家庭健康課	民間企業協力のもと地域主体で実施した防災訓練での健康づくり及び、子育て世代向けの防災ハンドブックの作成と活用についてご報告いたします。
41	「せんだい安心ナビ」を知ろう、使おう - 精神障害や発達障害のある方向けのシミュレーションブック - ■ 仙台市健康福祉局障害者支援課	「せんだい安心ナビ」は災害の備えから、避難時のシミュレーションまで一連で学べるツールです。防災に関する教材の1つとして障害者支援施設や相談支援機関などで、「自自力」を高めることにご活用ください。
42	大人も子どももみんなで楽しく学ぼう! 災害の教科書「防災パンフレット」 ■ 防災のすけっと	子どもから大人まで楽しんで学べる防災パンフレットを配布します。いつ起こるかわからない災害。防災グッズを準備するように、防災の知識も確認しませんか。
43	学生ボランティアとして行う震災伝承と災害救援 ■ 東北大学SCRUM	東北大学SCRUMの2024年度の活動紹介をします。2024年度は学生語り部や能登半島支援活動などを行いました。展示ではこうした活動の紹介を通して、防災の重要性や次世代の震災伝承の在り方を発信します。
44	令和6年能登半島地震での学生ボランティア活動報告 ■ 東北福祉大学	本学では「令和6年能登半島地震」の早期復旧・復興のため、石川県に入り、災害ボランティア活動を実施しました。参加した学生の活動報告を展示します。
45	おうちで・お店で 自分でできる! 防災・減災 - ふだんの生活から備える習慣を - ■ みやぎ生活協同組合	ふだんのくらしの中で、栄養バランスも考えながら備え続ける「ローリングストック」の紹介や、環境問題を考える展示、クイズを行います。環境配慮かつストックに役立つ商品や、かんたん防災レシピもご紹介します。
46	新しい災害食 - すべての方々に安心な備えを - ■ 株式会社 はつらつ	幼児から高齢者まで(アレルギー対応)、災害時要配慮者にも最適な災害食「ならちか白がゆ」の展示です。試食・持ち帰り用サンプル配布、また、一般調理にも使える活用法、ローリングストック法の紹介です。
47	情報通信と災害に強い街づくり ■ 国立研究開発法人 情報通信研究機構	情報通信を活用した災害に強い街づくりについてご紹介するとともに、最新の研究開発に係る内容などの展示を実施いたします。
48	次世代の「街を守る」smart town事業構想 - IoTやデータの安心安全な活用にに向けた実装例 - ■ 株式会社ラック	サイバー攻撃によりIoTを安心安全に使用できないという運用上の課題解決事例として、「smart town」を用いた除雪業務負荷軽減・防災対策システム「smart snow alert」をご紹介します。
49	Disarepo® 災害情報報告サービス - 被害現場と避難所状況をリアルタイムに可視化する - ■ 株式会社NTTデータ東北	災害対応を支援するサービスです。避難所・被害状況をアプリで簡単に報告でき、WEB画面でリアルタイムに集計された情報を確認できます。これにより、災害対策本部において迅速な判断や指示が可能となります。
50	新消防訓練「AR訓練」 - 自社プロデュース! AR消火システム「AR消火くん」ご紹介 - ■ 株式会社日本防災技術センター	AR(拡張現実)アプリDisasterScope&AR消火器による、実演と装着体験! 消防・防災のプロが新しい消防訓練を提案します。消火器型コントローラーで3動作で消火訓練できるシステムが体験できます。
51	災害時もバッテリー不足を解決! - ChargeSPOTの活用 - ■ 株式会社INFORICH	モバイルバッテリーシェアリングサービス「ChargeSPOT」。平時の充電ニーズ解消の他、地震や台風などの自然災害発生時バッテリー供給などの様々な取り組みをご紹介します。



ブース・ポスター展示

[会場] 展示室・会議室



52	災害対応支援システムの構築 -BCPの運用を効率化するシステムを提供します- ■株式会社 建設技術研究所	「災害対応支援システム:BCPの運用を効率化するシステム」各種災害に対するBCP等の防災関連計画を一元化し、リアルタイムで被害状況、対応行動を管理・共有・判断支援するシステムを提供します。
53	非常時に向けた電源の備えについて -ポータブル電源とソーラーパネルの活用- ■エレコム株式会社	非常時の電源確保に有効なポータブル電源と充電用ソーラーパネルの活用と、防災用懐中電灯を使用したペトボトルランタンについてご紹介いたします。
54	Date fm サバ・メシ防災ハンドブック2025 ■Date fm	東日本大震災後も、世界各地でさまざまな自然災害が起きています。いざという時の備えに、防災力をアップする知識や工夫を詰め込んだハンドブックを今年も発行、お配りいたします。日頃の備えとしてご活用ください。
55	もしもの時にいつもの味を -ビスコとカレー職人のご案内- ■江崎グリコ株式会社	ロングセラーのビスコの缶タイプとコンパクトタイプ、カレー職人常備用、それにアイフレオブランドの赤ちゃんミルクを展示致します。
56	非常食アレンジレシピコンテスト~非常食をいつものごはんに溶け込ませる~ ■さくらんぼ果の防災やさんにしや	第3回目となる今年のテーマ食材は非常食のトマトスープとドライカレー。それに乾パンなどの長期保存食・缶詰や乾物などの備蓄食材を組み合わせた力作レシピが集まりました。作り方や作り手の想いをご紹介します。
57	かほく防災記者 -中学生が震災の教訓と備えを発信- ■河北新報社防災・教育室 かほく防災記者	「かほく防災記者」として活動する中学生が、家族と一緒に避難訓練を行い、記事を書き、見出しを付けた「マイ防災新聞」を展示します。中学生監修の「マイ防災ミニブック」も作るワークショップも行います。
58	NHK仙台放送局 災害から命と暮らしを守る ■NHK仙台放送局 災害から命と暮らしを守る	NHK仙台放送局では、東日本大震災の「伝承」と「防災・減災」をテーマに企画展を開催します。震災の記憶や思いを後世につないでいくとともに、備えておきたい防災の知恵を紹介します。
59	仙台市津波避難広報ドローン事業 ■仙台市危機対策課	東日本大震災の経験を踏まえ、仙台市が津波からの避難を呼びかけるための新たな広報手段として整備を行い、令和4年度から運用を開始した「津波避難広報ドローン」をご紹介します。
60	海上保安庁の防災対策について ■海上保安庁 第二管区海上保安本部	海上保安庁による自然災害への対応状況、津波防災情報、東日本大震災で被災した航路標識の復旧状況と防災対策についてご紹介いたします。
61	自衛隊への道 -あなたも自衛官を目指しませんか?- ■自衛隊宮城地方協力本部	自衛隊宮城地方協力本部では自衛官の募集を行っております。自衛隊の任務や、自衛官への道がよくわかるパンフレットの配布やポスターの展示を実施いたします。
62	防災アウトドア術、防災車中泊術 ■東北アウトドア情報センター	防災アウトドア術、防災車中泊術の応用を考え、防災知識の間違いや修正も検討して行きます。
63	JICAと防災協力-東北と世界各国との「共創」による防災への取組のヒント、きっかけがここに! ■独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 東北センター	JICA東北は、東日本大震災からの復興等で得られた知見と教訓を世界に発信、共有してきました。仙台市、そして東北と世界各国との「共創」で生み出された軌跡を、様々なパートナーの皆さんから紹介いたします。
64	図書館資料で知る防災-東日本大震災-仙台市図書館のデジタル資料と図書資料- ■仙台市市民図書館	「せんだい電子図書館」(インターネットで電子書籍が読めるサービス)に登録されている「3.11 震災文庫」の電子書籍を読む体験を行います。また、東日本大震災や防災に関する資料の展示を行います。
65	建築の災害支援について-活動と課題- ■建築防災・災害復興支援団体 一般社団法人ヒトレン	「より良い復興」を基本テーマに東日本大震災から継続している建築支援についてこれまでの活動事例のほか、現在進んでいるチリや、能登半島の支援状況のご報告、そして建築支援の課題を発表いたします。
66	仙台市ガス局の防災・減災の取り組み ■仙台市ガス局	東日本大震災を教訓とした取り組みや、日々の保安対策をご紹介します。また、災害時のレジリエンス強化に加え、環境負荷低減に寄与する設備をご紹介します。
67	仙台市水道局 -災害に強い水道づくり- ■仙台市水道局 震災対策情報発信プロジェクトチーム	仙台市水道局が行っている「災害に強い水道づくり」について、「自助」・「共助」・「公助」・「連携」の観点から、ポスター・模型・動画等を通して市民の皆さまに理解を深めてもらうものです。
68	3.11伝承・減災プロジェクト -復旧・復興パネル展- ■宮城県土木部防災砂防課	今後発生が想定されている地震・津波に関連したもので、東日本大震災からの伝承の取り組みなどをパネル展示およびデジタルアーカイブ映像でお伝えします。
69	すぐに使える!土のうステーション -地域・会社などで分散設置して備蓄し備える- ■株式会社みやちゅう(防災土のうステーション)	水災害対策の一環として、地域や団体に密接する場所に点在させる「土のう置場」です。あらかじめ土砂を詰められた状態で土のうを備蓄することで、充填する作業負担を無くし「命を守る行動」の時間を確保します。
70	我が家は地震に大丈夫?木造住宅耐震化とブロック塀等の安全対策- ■仙台市建築指導課	仙台市で行っている古い基準で建てられた戸建木造住宅の耐震診断・耐震改修工事の補助制度や、ブロック塀等の安全対策・補助制度について紹介します。
71	仙台市の宅地防災に関する取組について -「宅地耐震化推進事業」と「盛土規制法」- ■仙台市宅地保全課	東日本大震災のような大地震による宅地被害を軽減するには事前防災が重要です。そこで、仙台市の取組として「宅地耐震化推進事業」や、令和5年5月に施行された「盛土規制法」の概要について紹介します。
72	地域の尊厳と被災者の人権を守る防災 -災害の教訓を他人事から自分事へ- ■一般社団法人 明日への架け橋	当団体の事業内容等に関するご紹介パンフレットの他、SDGsと防災に関するご提言を示したリーフレットを掲出します。また能登半島地震の状況を撮影した写真パネルと、東日本大震災の教訓DVDを掲出します。
73	自然災害への備えについて -災害リスクや地震・水災を補償する保険等について知ろう- ■一般社団法人日本損害保険協会東北支部	自然災害へのリスク対策について、経済的備えとして地震保険や水災を補償する保険をご紹介しますとともに、ハザードマップの読み方や当協会の防災教育プログラムについてもご案内します。
74	人・夢・技術グループの防災関連技術のご紹介(A・QとD・BOX) ■人・夢・技術グループ株式会社(長大・基礎地盤コンサルタンツ)	災害時や防災対策はもちろですが、平時でも活躍可能な商品である、「自己完結・完全循環型水処理システムトイ A・Q」と「D・BOX工法」を、パンフレットや動画をを用いてご紹介いたします。
75	気象・地震・火山災害から身を守るために -一知ってください!気象庁が発表する情報- ■仙台管区気象台	大雨・地震・津波・噴火への備えはできていますか?いざという時に身を守るための最新情報を、気象台職員がわかりやすく解説します。
76	イオン東北株式会社-安全・安心に暮らせるまちづくり ■イオン東北株式会社	私たちは安全安心に暮らせるまちづくりに貢献するため次の5つに取り組んでいます。①情報インフラの整備 ②施設の安全対策 ③物流サプライチェーンの進化 ④訓練計画の立案と実行 ⑤外部連携強化とシステム化
77	地域社会の安全・安心 -安全で住みよい社会の実現に向けた事業への取組み- ■(公社)仙台市防災安全協会	市民の防火防災意識の向上及び防災業務関係者の育成・支援等の取組みに関する防災パネルを展示します。
78	復興と未来の防災を目指す産学連携の取り組み ■東北大学 災害科学国際研究所・地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門	2004年インド洋津波の被災地の現状、生態系減災(Eco-DRR)の研究、防災の国際標準化(ISO)、小中学生向け減災教育の推進、これらの成果をきむ活動を発表いたします。
79	日本ジオパークネットワークにおける防災活動 ■特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク	日本全国には47のジオパークがあり、それぞれのジオパークでは独自の防災活動を行っています。その様々な活動をポスターを通して紹介します。
80	レジリエント・コミュニティの創生を目指す -イオン防災環境都市創生共同研究部門の活動- ■東北大学 災害科学国際研究所 イオン防災環境都市創生共同研究部門	本展示では、イオンモール(株)と公益財団法人イオン環境財団、東北大学災害科学国際研究所が立ち上げた共同研究部門の活動について、防災・減災、地域連携拠点の形成支援の展望などの紹介をします。
81	防災・減災につながる植樹活動 -東日本大震災からの「復興の森づくり」- ■公益財団法人イオン環境財団	当財団は1990年の設立以来、自然災害や伐採等で荒廃した森の再生を目的に、ボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続しています。本展示では、東日本大震災からの「復興の森づくり」についてご紹介します。
82	電力、Co2削減の切り札&避難所等での空気清浄の提案 -地球沸騰化の時代に- ■佐々木環境化学株式会社	空調機器の電力量及びCo2の具体的な削減策をオリジナル専用ソフトを使用し施工前後の削減数値を可視化し説明します。平均15%の削減を全国で達成しています。またFDA承認の空気清浄器を展示します。

各出展団体の分類は、右記の色分けでご確認ください。

- …復興・次世代への継承
- …防災・減災
- …地域防災
- …環境

子どもも学べる・楽しめる

83	災害を未然に防ぐ。環境に配慮した飲料メーカーとしての取り組み。 ■アサヒ飲料株式会社	CO2を食べる自販機の展示をメインに防災ベンダー・見守る自販機等の取組や環境配慮型の商品をご紹介します。
----	--	--

ポスター展示 団体一覧

①	海浜エリアの今 -つながりから生まれる、集いの海辺- ■仙台市若林区海浜エリア活性化企画室	せんだい海浜エリアでは、防災集団移転跡地活用事業をはじめ、地域住民等による様々な取り組みが進められています。観光や自然・歴史との触れ合い等、せんだい海浜エリアで遊び・学び・食を満喫してみませんか。
②	避難時の現状と課題を考慮した避難経路マップの作成 -災害時要援護者の避難所までのアクセスを中心に- ■仙台市立仙台青陵中等教育学校	本研究は、災害時要援護者の避難課題を明らかにし、適切な避難経路マップを作成することを目的とします。安全な横断やバリアフリー経路が不足している現状を踏まえ、支援策や防災対策の提言を行います。
③	仙台市市民センターの復興・防災の取り組み ■仙台市市民センター	仙台市市民センターは市内に60館あり、多くの市民に利用されています。身近な社会教育施設として地域の方々と取り組んできた、震災復興や地域の防災・減災に資する事業、地域の絆を深める事業等をご紹介します。
④	未来をカタチに みんなと創る「特別市」 ■仙台市まちづくり政策局政策企画課	仙台市は、令和元年度に大規模災害時の迅速な被災者対応が可能となる「救助実施市」に指定されました。更なる権限移譲がなされる「特別市」の法制化を目指し、政令指定都市一丸となった活動を行っています。
⑤	「防災とインターネット・SNS」シンポジウムの取り組み ■アディッシュコンソーシアム(アディッシュ株式会社、アディッシュプラス株式会社)	文部科学省委託事業「令和6年度青少年を取り巻く有害環境対策の推進(ネット上の有害環境から子供を守るための推進体制の構築)」の「防災とインターネット・SNS」シンポジウムの取り組みを発表します。
⑥	「道路不具合通報システム」の紹介 ■仙台市道路保全課	市のパトロールだけでは把握しきれない道路に関する不具合に気づいた時に、スマートフォンアプリを利用して、手軽に市に通報できる「道路不具合通報システム」のご紹介です。
⑦	無電柱化ポスター展 ■仙台市道路計画課	災害の激甚化・頻発化による電柱倒壊などから、近年、無電柱化の必要性が増えています。無電柱化に関する理解と関心を深めていただくため、無電柱化の目的や手法、本市の取り組み等をご紹介します。
⑧	第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品展 ■みやぎ災害伝承ポスターコンクール	過去の災害の記憶と教訓に触れ、災害時に命を守る行動がとれることを目指し、県内の小・中・高校生を対象に実施したポスターコンクールです。第3回の受賞作品36点を展示します。



環境フォーラム

[会場] 展示室



①・⑮	ミッションをクリアして楽しく学ぼう!環境アドベンチャー ■環境フォーラムせんだい2025実行委員会	環境フォーラム参加団体の各ブースを回り、クイズやワークショップといったミッションを通して環境について学んでいただく企画です。
②	制服の残布でできるみボタンをつくろう! ■尚絅学院大学 人文社会学類 渡邊ゼミ	宮城トンボ株式会社から提供していただいた制服の残布をかわいいくるみボタンにしちゃいました。簡単に作れますので、皆さん、ぜひ作りに来てください。
③	ネイチャークラフト体験-どんぐりや松ぼっくりをデコレーションしよう! ■東北工業大学 環境サークルたんぽぽ	東北工業大学環境サークルたんぽぽです!私たちのブースでは「ネイチャークラフト」体験を行います!どんぐりや松ぼっくりにお絵描きや、ビーズを装飾して持って帰ることが出来ます!
④	ワケルキャンパスの軌跡 ■ワケルキャンパス(仙台市家庭ごみ減量課)	ワケルキャンパスは大学生を中心としたプロジェクトチームです。若者のごみ減量・リサイクルの意識を高めるために活動しています。今回はワケルキャンパスの軌跡と、地域のごみ問題の変化についてご紹介します。
⑤	動物の絶滅危惧種カルタで学ぼう ■仙台ECO動物海洋専門学校 野生動物・環境保護専攻2年	絶滅危惧種の動物をテーマにしたカルタを使い、遊びながら生物多様性や保護の大切さを学びます!またブースでは学生が撮影した野生動物の映像を見て、実際の生育環境や特徴を学びます。
⑥	温暖化防止拠点!ストップ温暖化センターみやぎ ■公益財団法人みやぎ・環境とくらしネットワーク(MELON)/ストップ温暖化センターみやぎ	昨年同様、今年もとても暑かったですね。いま世界的な問題となっている気候変動。今、何が起きているのか、これからどうなるのか、そして私たちは何をすべきなのか一緒に考えてみませんか?
⑦	自然豊かなみどりの杜 ■せんだい農業園芸センターみどりの杜 日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体	みどりの杜自然塾の実績報告をパネル展示で紹介するとともに、みどりの杜内で採取した絶滅危惧種などにより「ミニ額縁づくり」のワークショップを開催します。
⑧	ともにアクション!地球温暖化対策-地球温暖化とわたしたちができること- ■仙台市脱炭素都市推進部	地球温暖化対策に関する市の事業やご家庭で日常的にできる取り組みを展示します。
⑨	なるほど!仙台水タンクとレインガーデン ■仙台リバーズネット・梅田川/NPO法人水・環境ネットワーク東北/雨水ネットワーク東北	仙台水タンク(雨水タンク)の実物とレインガーデン(雨庭)の模型展示による紹介と、環境、防災関連ポスターを展示します。
⑩	環境×防災×森林 CLTを活用したDIY防災シェルターキット開発 ■特定非営利活動法人水守の郷七ヶ宿	激甚化する傾向にある豪雨による土砂災害を防ぐには健全な森を育てていくことが必要です。木材特有の断熱性と壁式構造のCLTを活用し、安価かつ短期間に設置できる防災シェルターを開発しました。
⑪	気候変動ジェンガ・ゲームで学ぼう「気候変動のしくみと対策」 ■仙台青葉学院短期大学・とうほく食育実践協会	気候変動のしくみと対策について、ゲームをしながら学べるブースです。3歳以上から大人まで幅広く楽しめます。気候変動のしくみと、私たちが生活の中でできることを、ゲームを通して、楽しく、学びましょう。
⑫	地球を守るため建築士が考える未来の暮らし-G20.世界が目指す日本の植樹方式とは ■建築士会仙台支部と地球の子舎	環境に配慮した理想の家を提案します。省エネルギーの助成金の紹介、アスベスト問題も取り上げます。環境問題において重要な世界的解決策と言われた「宮脇フォレスト」、国際シンポジウムの様子をご紹介します。
⑬	太陽ってすごい ■みやぎ環境カウンセラー協会	地球温暖化について分かりやすく解説します。子ども向けクイズも実施します。
⑭	「社の都スタイル」ってなんだろう? ■仙台市環境共生課	仙台らしい環境にやさしい行動や身近な自然に親しむ「社の都スタイル」を広めるため、Instagramコンテストの受賞作品や社の都の生物多様性をご紹介します。